

先週末までのマーケット動向(6月20日～6月24日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,291.0	1,302.8	1,287.6	1,298.2	+10.9
JPY/KRW	9.5425	9.6534	9.4743	9.6284	+0.024
KOSPI	2,449.89	2,449.89	2,306.48	2,366.60	▲74.33

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。20日のドル/ウォンは1,291.0ウォンでオープンした後、中国の政策金利の据え置きが発表されると、人民元高に連れられドル/ウォンも週安値1,287.6まで下落。20日は米国休日だったこともあり、21日にかけてドル/ウォンは小幅な値動きとなった。しかし、22日には韓国株式市場が軟調な値動きとなる中、外国人投資家による株売りの影響もありドル/ウォンは上昇。さらに23日朝方に発表された韓国PPI(前年比9.7%)と同時刻に出たBOK総裁によるインフレ長期化発言等を受けドル/ウォンは1,302.8まで上昇。同日海外時間にはパウエルFRB議長が米公聴会にてインフレに対する自身のコミットは「無条件」と発言する等、継続的な米金利引き上げを示唆する内容となった。しかし24日には韓国当局による為替介入と思われる動きもありドル/ウォンは反落し、結局先週末対比10.9ウォン上昇した1,298.2ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは下に行つてこいの展開を予想。節目の1,300を乗せたドル/ウォンには達成感も出るほか、半期末となる今週は実需のウォン買いも入りやすく、一旦はドル/ウォンの上昇は小休止となろう。さらに当局による為替介入と思われる動きも警戒され、月末にかけてドル/ウォンは相応に下落するのではなかろうか。しかし、資源価格の上昇からくる経常収支の悪化や外国人投資家による株売り等、根本的なウォン売り要素は変わっておらず、7月に入るとドル/ウォンは反発する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1275 ~ 1305	9.40 ~ 9.70	134.2 ~ 136.2

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 27日(月) 米 5月 耐久財受注 速報値
- 28日(火) 米 6月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 29日(水) 米 1Q GDP 確定値
- 30日(木) 日 5月 鉱工業指数 速報値
- 米 5月 個人所得
- 米 5月 個人消費
- 中 6月 製造業PMI
- 中 6月 非製造業PMI
- 1日(金) 日 6月 東京都区内CPI
- 日 5月 失業率
- 米 6月 ISM製造業景況指数
- 日 2Q 日銀短観